

【小学校算数 基本問題 小6 - 】

「分数×分数」No. 1	()組	氏
	()番	名

1 次の にはあてはまる言葉を, には記号を書きましょう。(単元評価問題:小6・1)

分数のかけ算では, どうし, どうしを, それぞれかけます。

$$\frac{\quad}{\quad} \times \frac{\quad}{\quad} = \frac{\quad \times \quad}{\quad \times \quad}$$

分子, 分母の順でも正解です。

2 次の計算をしましょう。途中の計算も書きましょう。(単元評価問題:小6・1)

(1) $\frac{2}{3} \times \frac{7}{5} = \frac{2 \times 7}{3 \times 5} = \frac{14}{15}$ (1) $\frac{14}{15}$

整数は, 分母が1の分数になおして計算する。

(2) $2\frac{3}{5} \times 2 = \frac{13}{5} \times \frac{2}{1}$ または $\frac{13 \times 2}{5}$ (2) $2\frac{6}{5} (5\frac{1}{5})$

$= \frac{26}{5} (5\frac{1}{5})$ 3と9を3で約分する。

(3) $1\frac{1}{3} \times 2\frac{1}{4} = \frac{4}{3} \times \frac{9}{4} = 3$ (3) 3

$= 3$ 4と4を4で約分する。

(4) $\frac{3}{4} \times \frac{5}{9} \times 2\frac{2}{5} = \frac{3}{4} \times \frac{5}{9} \times \frac{12}{5} = 1$ (4) 1

$= 1$ 途中で約分して計算する。

約分した結果どうしがさらに同じ数でわかれるような場合には, もう1回約分をする。

帯分数は仮分数になおして計算する。

3 次の にあてはまる数を書きましょう。(単元評価問題:小6・2)

(1) $\frac{3}{8} \times \frac{8}{3} = 1$ $\frac{8}{3}$ は $\frac{3}{8}$ の逆数です。

(2) $4 \times \frac{1}{4} = 1$ $\frac{1}{4}$ は 4 の逆数です。

(3) $0.5 \times 2 = 1$ 2 は 0.5 の逆数です。

このように, 2つの数の積が になるとき, 一方の数を他方の数の逆数といいます。

整数や小数は, 一度分数になおして考える。

$4 = \frac{4}{1}$ $0.5 = \frac{5}{10} = \frac{1}{2}$

【小学校算数 基本問題 小6 - 】

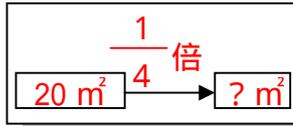
「分数×分数」No. 2	()組 ()番	氏名
--------------	--------------	----

4 次の にあてはまる数を書きましょう。(単元評価問題:小6・)

(1) 20 m^2 の $\frac{1}{4}$ は 5 m^2 です。 (2) 600 円 は、 900 円 の $\frac{2}{3}$ です。

【式と計算】

$$20 \times \frac{1}{4} = \frac{\overset{5}{\cancel{20}} \times 1}{\cancel{4}_1} = 5$$



【式と計算】

$$900 \times \frac{2}{3} = \frac{\overset{300}{\cancel{900}} \times 2}{\cancel{3}_1} = 600$$

(3) 縦 $\frac{4}{5}\text{ m}$, 横 $\frac{3}{4}\text{ m}$ の長方形の

面積は $\frac{3}{5}\text{ m}^2$ です。

(4) 一辺の長さが $\frac{1}{3}\text{ m}$ の立方体の体積

は $\frac{1}{27}\text{ m}^3$ です。

【式と計算】

$$\frac{4}{5} \times \frac{3}{4} = \frac{\cancel{4} \times 3}{5 \times \cancel{4}_1} = \frac{3}{5}$$

長さが分数になっても、面積や体積の公式は使える。

【式と計算】

$$\frac{1}{3} \times \frac{1}{3} \times \frac{1}{3} = \frac{1 \times 1 \times 1}{3 \times 3 \times 3} = \frac{1}{27}$$

(5) $\frac{1}{3}$ 時間は 20 分です。

(6) 30 分は $\frac{1}{2}$ 時間です。

【式と計算】

$$60 \times \frac{1}{3} = \frac{\overset{20}{\cancel{60}} \times 1}{\cancel{3}_1} = 20$$

$\frac{1}{3}$ 時間は、
1時間(60分)
の $\frac{1}{3}$ 倍

【式と計算】

$$30 \div 60 = \frac{\overset{1}{\cancel{30}}}{\cancel{60}_2} = \frac{1}{2}$$

30分は、1時間(60分)の何倍にあたるかをわり算で求める。

5 分数のかけ算の積とかけられる数との大きさの関係について考えましょう。

(単元評価問題:小6・)

(1) にあてはまる不等号 ($>$, $<$) を書きましょう。

かけ算で、かける数が分数のときも、

- ・ かける数 > 1 のとき、積 $>$ かけられる数
- ・ かける数 < 1 のとき、積 $<$ かけられる数 となります。

(2) 次のあいうを、積が大きい順に並べましょう。

あ $\frac{8}{9} \times \frac{3}{4}$ い $\frac{8}{9} \times \frac{5}{4}$ う $\frac{8}{9} \times 1$

(2)

かけられる数が同じ場合、かける数が大きいほど積も大きくなるので、かける数が大きい順に並べる。